



夢に生かさん

Takeokadai High School

1・2年生用

進路指導部 第9号

発行日 H31. 3. 25 (月)

30期生入試結果速報

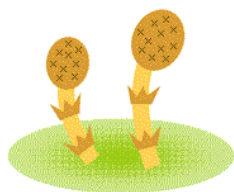
2019年度入試がほぼ終了しました。センター試験においては、国語が例年よりも易化し、昨年より平均が16.87点アップしました。英語筆記は例年並みの平均点でしたが、昨年過去最低の平均点となったリスニングは8.75点アップの31.42点となりました。数学はほぼ昨年同様の平均点となりました。理科は、生物基礎が難化しました。科目間の平均点の差は小さくなり、いずれの科目も30点前後に収まっています。地歴公民においては地理Bと倫理、政治経済で難化しました。本校の文系では、全国的な平均点の上昇で、得点は取れたものの判定が厳しいという印象を受けた生徒が多かったと思います。目標点数に届かず、自己採点後の判定は厳しい結果となった生徒も、自分の目標を定め、最後まで頑張ってくれました。前期日程試験(2月25・26日)では132名、中・後期日程試験(3月8・12日)では107名が、全国各地の大学に果敢に挑戦しました。今年も卒業式翌日以降も登校し、小論文や面接の指導を受けていました。最後の最後まで粘り強く頑張ったことは、今後の人生の自信につながるはずです。

さて、1・2年生の皆さん、来年・再来年の自分を想像してみてください。現在の生活習慣や学習習慣で合格を勝ち取る自信がありますか？受験は日々の勉強の延長線上にあり、合格への挑戦はもうすでに始まっているのです。3月18日に実施された30期生の受験報告会で聞いた話も参考にして、今からやるべきことをきちんと認識して、新しい学年への準備をしましょう。

【30期生 合格状況一覧】(3月22日現在 国公立大学のみ)

大学	推・AO	前	中後	合計
埼玉大	1			1
静岡大		1		1
大阪教育大		1		1
鳥取大		1		1
山口大		1		1
九州工業大	1			1
福岡教育大	1			1
長崎大	1	1		2
熊本大		1		1
宮崎大	1	3	1	5
鹿児島大	22	25		47
琉球大	1	2		3
合計	28	36	1	65

大学	推・AO	前	中・後	合計
静岡文化芸大			1	1
愛知県立大		1		1
兵庫県立大	1			1
福山市立大		2		2
高知県立大	1			1
広島市立大	2			2
下関市立大		1	2	3
福岡県立大	3	1		4
北九州市立大	4			4
長崎県立大		2	1	3
宮崎県立看護大		2		2
宮崎公立大	1	5	1	7
合計	12	14	5	31



	推・AO	一般	合計
国公立大学	40	56	96
県立短期大学	4	35	39
医療センター附属看護	1	8	9

昨年84

昨年30

昨年5

* その他難関私立大学に多数合格しています

3年生の合格体験記

30期生が合格体験記を書いてくれました。3つ紹介します。参考にしてください。

<受験を通して> 一部抜粋

宮崎大学地域資源創成学部地域資源創成学科 前期入試合格(普通科文系)

私は部活を引退した後もいつまでもだらけていました。そんな状況が一変したのは7月のマーク模試です。私の志望校合格可能性は0.1%と書いてあり、さすがに焦りました。それから必死に勉強しました。11月のマーク模試では9月から100点伸びていました。その時、喜んだものの、やはり現実は甘くありませんでした。もともと1・2年からコツコツやってきた人たちも伸びるわけで、その人達との差が少し縮まっただけでした。到底追いつけるわけありませんでした。最後まで点数は伸びたものの、センター試験では目標点数には届かず、悩んだ結果、志望校を変更することにしました。気持ちを切り替えて二次対策では英語をひたすら勉強しました。試験本番では時間配分がうまくいかず、自信はなかったので、合格を知った時は嬉しすぎて担任の先生に報告するのを忘れていたくらいです。

数学が苦手という理由で文系を選んだ私は、1・2年次は数学から逃げ続けていました。そのため、3年で周りが応用をやっている中、私は基礎をやり、授業についていくのに必死でした。皆さんは苦手科目から逃げずに立ち向かってください。皆さんにはまだ時間があります。応援しています。

<受験を終えて> 一部抜粋

鹿児島大学理学部生命化学科 前期入試合格(普通科理系)

私は、推薦Iで小論・グループ討論に失敗し、不合格でした。しかし、失敗してもすぐに立て直したことが良かったと思います。推薦の勉強に費やした時間は不合格になると無駄になったように見えるかもしれませんが、決してそんなことはなく、これからの人生に役に立つことばかりでした。指導して下さった先生方や一緒に頑張ってくれた友人にはとても感謝しています。とはいえ、11月後半まで推薦の勉強を中心にしてきたので、成績は4月のマーク模試から少ししか伸びていませんでした。

残された時間を効率的に勉強する方法をたくさん調べ、「短時間刻み勉強法」というのを見つけました。勉強の始めと終わりの5分は、集中力が高まるため、短時間で勉強することで勉強時間に対する初めと終わりの10分の割合を高くし、効率が良くなるというものです。家はこのやり方でストップウォッチを使って行いました。特に、二学期は毎週のように模試があり、辛い時期もありましたが、休み時間や休みに友人と面白い話で笑い合ったり、励まし合ったりする時間があって乗り越えられました。勉強が上手いかわからない時も、クラスの明るい雰囲気、また頑張ろうと思えました。

この受験を通して、たくさんの人から「がんばれ」という言葉をもらいました。今度は私が、これから頑張る人たちへこの言葉を贈る番です。私は後悔したことがたくさんあります。これから受験の人は、少しでも後悔を減らせるように、一年先を見据えて、最後まで諦めずに、粘り強く頑張ってください。

<受験苦労話> 一部抜粋

下関市立大学経済学部経済学科 前期入試合格(情報科文系)

私が大学受験を通して一番大切だと感じたものは、集中力を持続させる体力です。1・2年次は部活ばかりしていて、予習・復習はおろか宿題も提出したりしなかったりという状態だったので、勉強する習慣を身につけるのに苦労しました。1・2年次に英単語や熟語、古典単語の小テストがありましたが、それをおろそかにしていたため、3年になって単語を覚えることからはなかなかならないう状態で、時間がいくらあっても足りませんでした。また、そのせいで苦手な理科や数学にかかる時間が少ししか確保できず、結果的に志望校を変更せざるを得ませんでした。

一番悔しいことは、日頃の授業を大切にしていなかったことです。3年になって演習が増え、自分で復習する時間が多くなった。その時に、真面目に授業を聞いていた内容は、解説や問題集を読んだだけで理解できたが、真面目に聞いていなかった内容に関しては、こんなことやったっけ?と理解不能なことが多く、かなり時間を無駄にしました。1・2年から日頃の授業や隙間時間をうまく利用すれば良かったと後悔しています。1・2年の皆さんは授業をもっと大切にしてください。